

Next Action



邦楽ルネッサンス



邦楽ファミリア



「和」のコンサート

KOTO-NOBU-LOG.

入場無料
(観覧券が必要です)

この若者たちの
躍動するパフォーマンスを
見逃すな!

華・三味線・尺八が織りなす和の心

SANKYOKU 2016
～若き名手・和の継承～

平成27年11月15日(日)
宇都宮市文化会館 大ホール
開場13:30/開演14:00

入場無料
(観覧券が必要です)

栃木市都賀文化協会創立40周年記念事業

「光と和音」
若き名手が奇跡の空間をつくる!

SANKYOKU 2016
～若き名手・和の継承～

【演目】
♪子供のための組曲 丸山博康 作曲
観劇音楽：自由な主題 阿部信行(尺八) 片岡由紀(尺八)
伊藤美好(尺八) 伊藤 隆(尺八)
♪久石譲作品によるファンタジー 本郷文雄 編曲
♪真美夜 沢月北枝 作曲 一はら
(両曲) 常盤美妃

平成28年11月27日(日)

SANKYOKU 2017
若き名手・和の継承

2017年8月20日(日) 出演：邦楽ゾリスデン
13:30開場/14:00開演 宇都宮市文化会館 小ホール
入場料(税込)：一般2,000円 (学生)1,000円 (全席自由) 5月27日(日) 発売開始

【演目】
♪リニアル オープン記念
邦楽ゾリスデン 創立10周年

SANKYOKU 2018
若き名手・和の継承

2018年8月19日(日) 邦楽ゾリスデン
13:30開場/14:00開演 宇都宮市文化会館 小ホール
入場料(税込)：一般2,000円 (学生以下)1,000円 (全席自由) 5月17日(日) 発売開始

【演目】
♪リニアル オープン記念
邦楽ゾリスデン 創立10周年

SANKYOKU 2019
邦楽ゾリスデン 創立10周年
若き名手・和の継承

2019年8月25日(日) 宇都宮市文化会館 小ホール
入場料(税込)：一般2,000円 (学生以下)1,000円 (全席自由) 5月17日(日) 発売開始

【演目】
♪リニアル オープン記念
邦楽ゾリスデン 創立10周年

SANKYOKU 2022
邦楽ゾリスデン 創立10周年
若き名手・和の継承

2022年11月26日(日) 宇都宮市文化会館 小ホール
入場料(税込)：一般2,000円 (学生以下)1,000円 (全席自由) 5月17日(日) 発売開始

【演目】
♪リニアル オープン記念
邦楽ゾリスデン 創立10周年

ルネッサンスとファミリア

来月は昨年に引き続き、尺八奏者の川村葵山さんとアウトリーチ・コンサートで高松へ伺います！今年「邦楽ルネッサンス」と題した高松市香西での公演に加え、一日中いても楽しめる子育て拠点の讃岐おもちゃ美術館で0歳からのお子様も入場可能な「邦楽ファミリア」コンサートを開催します。地域コミュニティに対して芸術文化や音楽経験の面白さを、箏と尺八のコンサートを通してお伝えしたいと思っています。それが邦楽への興味や関心、邦楽界の盛り上がりにつながっていくことを願っています！

SANKYOKUでの7年間

11月26日、故郷、宇都宮市での《SANKYOKU2022 ～若き名手・和の継承～》が終演しました。それと同時に、2015年から続いた「SANKYOKU」公演は、これで一区切りとなりました。

2010年に、子供の頃からの私の師匠で、栃木県文化功労者でもある和久文子師が名付けて下さった箏、三味線、尺八によるアンサンブル・グループ「邦楽ゾリスデン」の活動は、この「SANKYOKU」公演の軌跡そのものでした。『日光田母沢御用邸記念公園 秋の音楽祭』で本格的にスタートし、『東レパン・パシフィック・オープンテニストーナメント』での歓迎演奏、宇都宮市大谷地区で開催された文化事業『和の都 宇都宮アートフェスト』で華道家・假屋崎省吾さんのフラワーインスタレーションとの競演、2016年には栃木県「とちぎ未来大使」に任命され、より地域社会や市民の方に近い距離で、邦楽の醍醐味を伝える活動を意識するようになりました。

公演タイトルの「SANKYOKU」とは、箏、三絃、尺八によるアン

サンブル形式の「三曲」（さんきょく）からとった言葉で、海外の方にも伝わるようにローマ字表記にしました。司会者を入れたり、大規模な合奏曲をプログラムしたり、ゲストを招いたり、三曲合奏での古典曲を必ずプログラムしたり、毎回、メンバーでアイデアを出し合いながらプログラミングし、コロナ禍での公演休止があった2年間を含め7年間で、合計8公演を行いました。

公演制作には、スタート時から、この公演を主催する公益財団法人うつのみや文化創造財団の皆さん、舞台、音響、照明の技術の皆さんと、一から制作してきた公演であったことも私たちにとって素晴らしい経験でした。1つの大規模公演（スタート時は1000人規模のホールでの公演を年2ヶ所巡るツアー公演でした）を各スタッフの方たちと制作するのに必要な作業スケジュール、舞台イメージ、印刷物プランやデザイン、そして集客アナウンスなど、ここまでアーティスト側がやるべきなのか、とってしまう時もある位に、私たちの思いやアイデアを舞台で形にするため一緒に制作していきました。今振り返れば、そこには常に「邦楽ゾリスデンらしさとは何か」があったと思います。ご来場者の延べ人数がどれ位になるのか分かりませんが、本当に毎回沢山の方にご来場頂き、応援し、支えて頂いたこともとても幸せなことでした。

結成から12年を迎えたグループとして、これからの方向性を考えるとともに、これまで支えてくださった師匠の和久文子先生を始め、ホームステージとしていた宇都宮市文化会館の皆さま、音響・照明の有限会社ハーモニーの皆さま、デザイナーの笹川アツコさん、ゲストアーティストの皆さま、そして、ご来場くださったお客様に、心より、この7年間の感謝をお伝えしたいです。誠にありがとうございました！！“JIJI-BABAR”（公演内でのコーナー名です）になるまで、再び、切磋琢磨していこうと思います！

